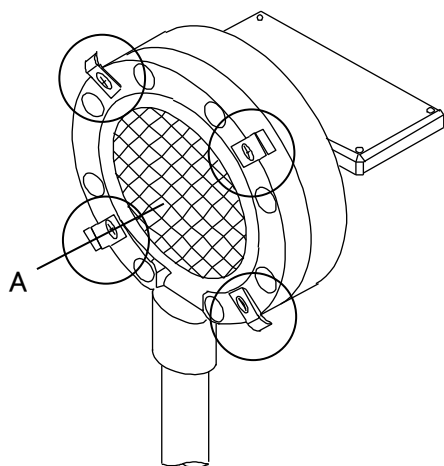


エコピカP取り扱い及び設置要領書 (Ver.2.3)

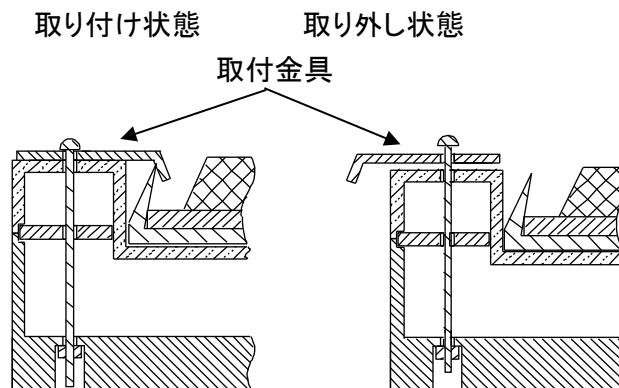
1. 設置手順(参考)

1.1 取り付け、取り外し

反射式デリニエータへの取り付け、取り外しは、○印部分(4箇所)のとめ金具により行う。

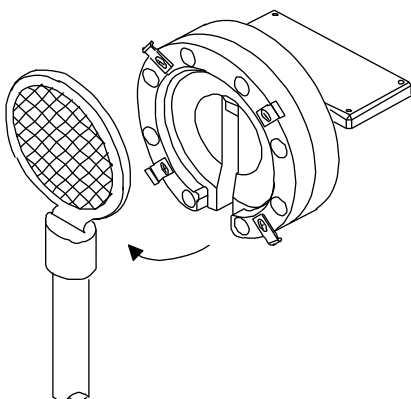


A部断面

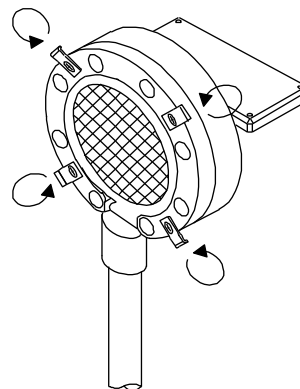


(1) 取り付け

① 取付金具のビスを緩めてツメ部分を内側に向けデリニエータに取り付ける。

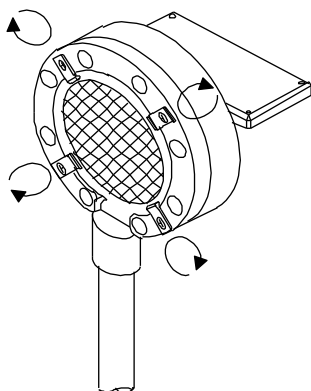


② 取付金具のツメ部分を内側に向けビスにより金具を締め付ける。

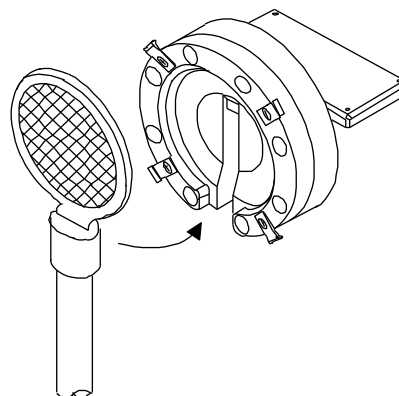


(2) 取り外し

① 取付金具のビスを緩めてツメ部分を外側に向ける。



② デリニエータから取り外す。



ご 注 意

本装置は、太陽光による発電を充電して動作する装置のため、開梱時は、動作しないことがあります。その場合、太陽電池部を、太陽光に当ててください。

晴天時で約30分(曇天時1~2時間)の充電時間が必要です。

(この時間で満充電を保証するものではありません)

なお、動作試験は充電後、周囲を暗くして点滅動作することを確認ください(夜間のみ動作する装置です)。

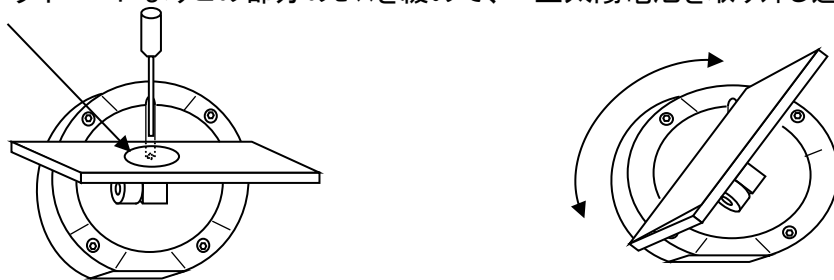
※工事の際は、なるべく太陽光の当たるところに置いて、工事されることをお勧めします。

1.2 太陽電池角度調整

太陽電池が最も有効に陽光を受けられるように、垂直方向、水平方向の角度の調整を行う。

(1) 水平方向

+ドライバーによりこの部分のビスを緩めて、一旦太陽電池を取り外し適正な角度に調整を行う。



(2) 垂直方向



+ドライバーによりこの部分のビスを緩めて、一旦太陽電池を取り外し適正な角度に調整を行う。

(3) 積雪が有る場合の調整

上記(1)、(2)の設定で、太陽光を受けるよう調整しますが、積雪が有る場合は、太陽光が受けられる方向でなお且つ、角度を鋭角にしてください(垂直近く)。

参考

同期点灯について

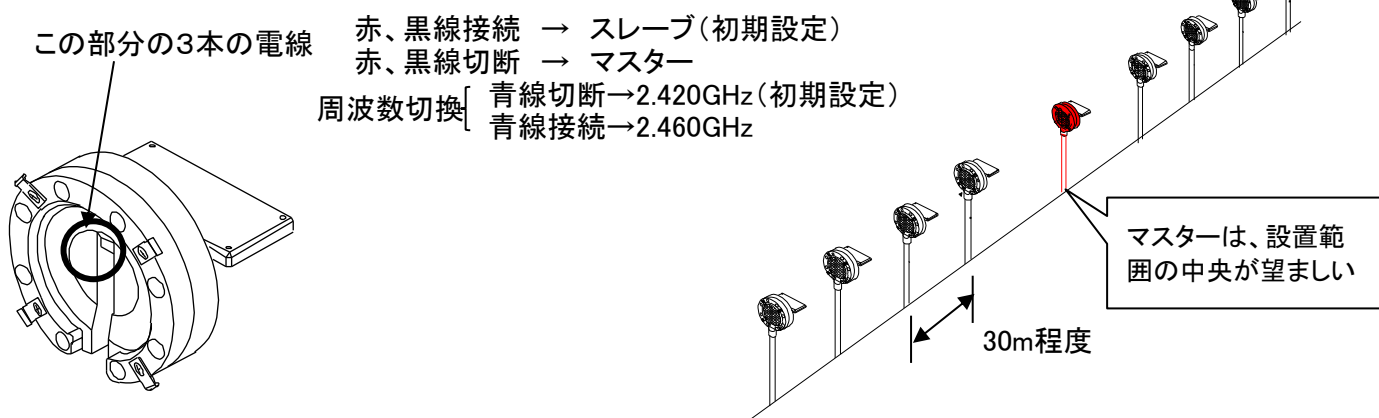
本エコピカPは、複数個設置する場合、視線誘導機能を高めるため、同期信号を伝達する小電力無線同期ユニットが内蔵され、同期点滅が可能となっています。設定により、マスター(親)と、スレーブ(子)に分類されます。無線の伝達距離は、約100m程度ですが諸条件により異なるため、設置間隔は30m程度にされる事を推奨します。

マスター : 複数個設置の中(エリア内)で1台のみとし、基準信号を発信する(親局)。

スレーブ : 複数個の残りはスレーブとする(子局)。

・ マスター 及び スレーブ の設定

・ マスター の設置位置



周波数切換えについて

周波数の切換えはJCTなど立体交差点で、上側車道と、下側車道が離れており無線が届きにくい場合上・下で周波数を切換え、それぞれの周波数で、マスターを設定して、使用することが出来ます。

注意: 同期点灯は、2.4GHz帯の無線機を使用していますので設置場所(山間部、切り土、遮音壁など)やJCTなど立体交差点(上下)、交通量(大型トラックが連続して通行)などにより、電波が乱され、同期出来ない事もあります。

設置する条件にて、同期出来ない場合は、中継器(オプション)を設置することで、解消できる場合もあります。

※設置の諸条件により、設置したエコピカPすべてが同期点滅することを保障したものではありません。